

蒸氣船一艘英國へ註文伺

各所燈臺ノ巡廻船テ一ホルノ儀ハ元來石炭ヲ多ク費シ製造不宜其上不斷修覆ヲ加へ不申候テハ不相叶然ル處追々燈臺ヶ所數多ニ相成右船一艘ニテハ巡廻行届兼候就テハ別紙間尺ノ船一艘英國へ注文致度尤今ヨリ注文イタシ候テモ落成着港迄ハ凡ニケ年間モ相掛可申ニ付可然儀ニ候ハ早速右代價等同國へ問合ノ上尚可申進候依之別紙造製大意相添此段相伺申候也

明治六年三月七日

工部大輔山尾庸三

正院御中

伺之通

明治六年三月九日

工部省御用外車蒸氣船

出来積

船艀

ロイド氏ノ法ニ依リ一等

船仕上ケ十七年請合

惣長サ

二五〇尺

水線長サ

二二五尺

大中横本

三〇尺

仕切

前部

一箇所

廿八

太政官

前荷部屋前へ

一箇所

前荷部屋後口

同

中荷部屋前へ

同

後部

同

但下廣間板敷ヨリ船底迄

馬力

高壓低壓二百五十馬力許

冷<sup>サアエー</sup>水<sup>トスコンデンシングヘインジイン</sup>器

竈

四ツ附

船ノ速度

十節半

フイツリングダフローツ軸心ヨリ軸心迄径リ

二二尺許

フローツ長サ九尺幅二尺五寸

石炭櫃

十二日焚分入

前巻キ轆轤

中央兩竈ノ蒸氣ニテ運轉仕掛

甲板

上甲板チルク樹ニテ前へ後口一面ニ出来

上甲板ト中甲板ノ距離七尺五寸中甲板ト

傳馬船  
下甲板ハ、ハイン樹ニテ出来

ツイン蒸氣傳馬 長ニ九尺許

一艘

十挺楫傳馬

二艘

ギツク傳馬

同

ジヨリー傳馬

一艘

船中間取

後廣間

一

寢室

十

寢棚ニツ、但兩側後口ノ二室ハ一ツ、

外廣間

賄方物入

一

乾物入

一

便所

一

賄方室

一

圖引室

一

前廣間

二十五八八

下等客間

男二五人、女十人、但シ男ハ水夫同様寢棚居付キ、女ハ別ニコレヲ仕切

船乗間割

水夫二五人、火焚二五人、夫長四人、小遣十人

甲板

士官三人、水夫頭一人、船将一人、機關方三人

一等吸煙室一、二等吸煙室一、麵包焙所一、屠

牛所一、一等便所二、二等便所一、上等浴室一、

中等浴室一

船将部屋

船ノ後部ニ付ク

後廣間料理場

前同

下等同

網具類

前播網具

角帆<sup>スクエヤ</sup>仕掛

中播網具

片帆<sup>スクエヤ</sup>仕掛

船廻リ日覆柱前、後口日覆張出シ

但シ前及ヒ中入口上ノ處ハ荷物

揚ケ卸シ「デリック」仕掛

舵車

ブリチ并車後ヨリ運用非常備諸道具附舵  
部屋及ヒ圖室ハ「ガリヂ」ノ上ニ付ク

ポンプ

四ツ

内一ツハ前仕切ヨリ一ツハ後口荷部屋ヨ  
リ余ハ機關部屋ヨリノ仕懸ニ出来

ドンキーインジン。ポンプ

機關部屋船腹並ニ前及ヒ中ノ荷部屋ヨリ  
或ハ船外へ水ヲ出シ又海水ヲ竈中或ハ甲  
板上へ取ルノ仕掛

機關部屋ノ「ハンドポンプ」

竈中ノ水或ハ港内ニ於テ機關部屋船腹中  
ノ水ヲ出シ又甲板上ニ水ヲ取ルノ仕掛

デツクダウントンス。ポンプ

ニ

後口ニ在ル方ハ後口荷部屋内前ニ在ル方  
ハ前仕切ノ中ニテ俱ニ海水ヲ取ルノ仕掛  
但「ロース」ハ機關ノ「ポンプ」ヨリハ別段ナリ

後口廣間

一等飛脚船同様ノ出来各室夜ノ明リハ室  
間柱仕込ノ「ランプ」ヨリ取ル

船室ノ大氣ハ窓穴ヨリ通ハシ其穴ハ各室ノ模  
様ニ寄りニツ付ルモアリ

廣間ノ大氣ハ天窓並ニステルンホート船穴ヨリ通ス

前廣間ハ結構清麗ニ出来上ケ

船將物入部屋

水夫物入部屋

機關方物入部屋

帆部屋

賄方粗品入